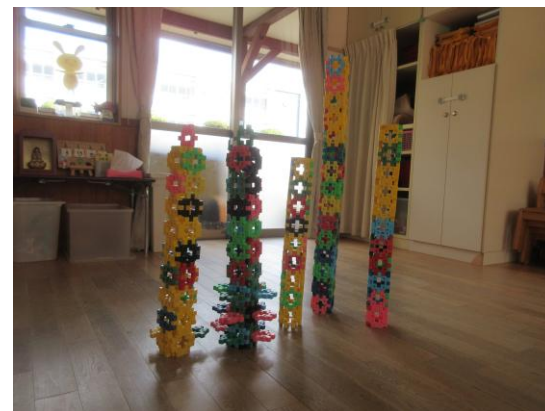


「また明日もしよう！」

作成日：2025/5/13
対象児：きく組4歳児
作成者：小城亜矢子

ねらい：好きな遊びを見つけ、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。



振り返り

進級して2ヶ月が経とうとしています。新しいクラスや友達にも慣れ、好きな遊びを見つけ楽しむ姿が見られます。「お人形さんの家作りたい」との一言から、「ぼくも入れて」とどんどん仲間が増え、あっという間に大きな家が出来上がりました。「え？もうできた」とみんなで作ると早く完成できたことを喜び合った別の日には「でっかいロケット作ろう」とまた友達を誘って作り始めました。ある程度長くなり手が届かなくなると、「(背伸びして) うーん、無理…」「どうする?」「抱っこは…重いわ～」と子ども達。そこで私が「じゃあ先生が危なくないように見てるから、椅子を使う?」と提案すると「うん!じゃあ僕も」「こっち押さえとくな」「じゃあ僕はブロックを作って渡すね」と自然と自分達で役割分担する流れになりました。最後には倒れてしまったのですが、それを「面白かった」「また明日もしよう」と思えたのは、友達と共通の目的に向かって遊んだことに満足できたからだと思います。

一人では時間がかかったり、上手く行かなくて諦めてしまったりすることもあります。友達と一緒にだと、意外な結果が新鮮で面白かったり、ちょっと無理かなと思うことにもやってみようという気持ちになったり、友達が嬉しそうにしていると自分も嬉しかったりします。想像通りの結果や達成したい目標だけがゴールではないんだと気付けたらいいなと思っています。

楽しかった経験は今後の意欲や探求心につながっていきます。年中児の今、「またしたい」と思えるような楽しい遊びや活動を友達と一緒にたくさん経験していきたいなと思っています。(協同性、自立心、言葉による伝え合い)